

ネオイーグル 施工マニュアル

(平成25年 9月 1日改定)

日本工業規格認証工場

 松岡コンクリート工業株式会社

H.P. : <http://www.cm-con.co.jp> E-mai : cmc@cm-con.co.jp

本 社	〒503-0917 岐阜県大垣市神田町1丁目6番地 TEL 0584-62-5083
本社工場	〒503-0111 岐阜県安八郡安八町西結1196 TEL 0584-62-5007 FAX 0584-62-5265 認証番号 JIS TC0407014
三重工場	〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田351 TEL 0594-82-1130 FAX 0594-82-1131 認証番号 JIS TC0407001
愛知工場	〒444-3443 愛知県岡崎市鍛埜町坂口1-1 TEL 0564-85-7622 FAX 0564-85-7623 認証番号 JIS TC0406018
静岡工場	〒426-0205 静岡県藤枝市花倉123-1 TEL 054-648-1555 FAX 054-648-1556

ネオイーグル 施工マニュアル

INDEX

1. 準備工	
1 - 1. 必要備品	1
2. 掘削・床掘	
2 - 1. 掘削・床掘	2
3. 基礎	
3 - 1. 基礎砕石	3
3 - 2. 基礎コンクリート	4
3 - 3. アンカー鉄筋配筋	5
4. ネオイーグル根石	
4 - 1. 丁張・墨打ち	6
4 - 2. ネオイーグル根石据付	8
4 - 3. 胴込コンクリート打設	9
4 - 4. 良質土埋め戻し	10
5. ネオイーグル据付	
5 - 1. ネオイーグル設置	11
5 - 2. 調整時の注意点	12
5 - 3. 水抜きパイプの設置	13
5 - 4. 埋め戻し・透水層の施工	14
5 - 5. 胴込コンクリート打設	15
6. 3段目以降	
6 - 1. 以降繰り返し	16
7. 参考資料	
7 - 1. 各製品の1個あたり胴込コンクリート量	17

1. 準備工

1 - 1. 必要備品

- 吊具 { 吊りマスター (専用吊金具) 2個
- シャックル 2個
- 玉掛けワイヤー 2m x 2本
- バール (大、中 数本)
- キャンバー、ライナープレート (調整用)
- パイプサポート

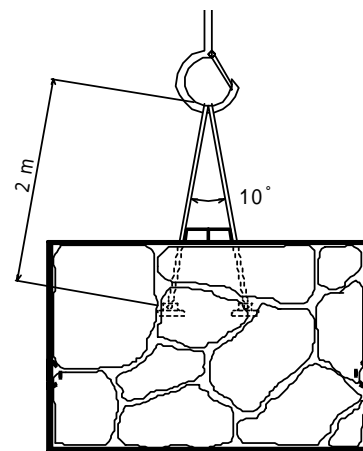


吊金具一式

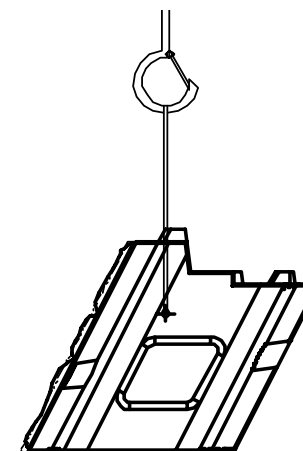
シャックルのサイズについては、単純に製品重量から計算せず、製品を吊る場合の荷重方向を考慮し、**1.1倍の割増を行ってください。**(1.1倍の割増は下図の場合です。(吊角度10°))

同様に玉掛けワイヤーの径についても**割増が必要**になります。(下表参照 全日本ロープ加工組合連合会HP 公開資料を引用し、6×24 O/O A種安全荷重(安全係数:6)2本2点つり 吊角度30°を参考として採用する)

安全荷重(単位:tf)	
径(mm)	2本吊 30°
8	1.02
9	1.28
10	1.59
12	2.28
14	3.11
16	4.06
18	5.14
20	6.34
22	7.71



正面



側面

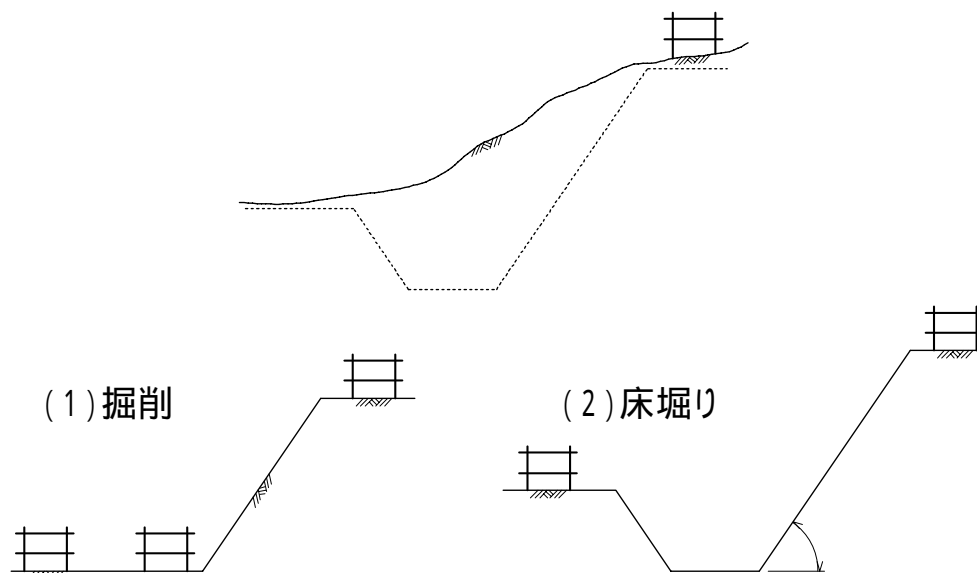
2. 掘削・床掘

2 - 1. 掘削・床掘

発注図面などの設計図書に示された床堀線・掘削線に従って施工してください。
床掘は必要根入れに基礎砕石及び基礎コンクリートの厚さを加算して決定してください。
型枠等の基礎工事に支障のないよう基礎の前後に余裕代を確保してください。

余裕代の基準は500mm(土木工事数量算出要領(案):国土交通省中部地方整備局監修)

床掘にあたっては、基礎地盤を乱さないよう慎重に施工してください。

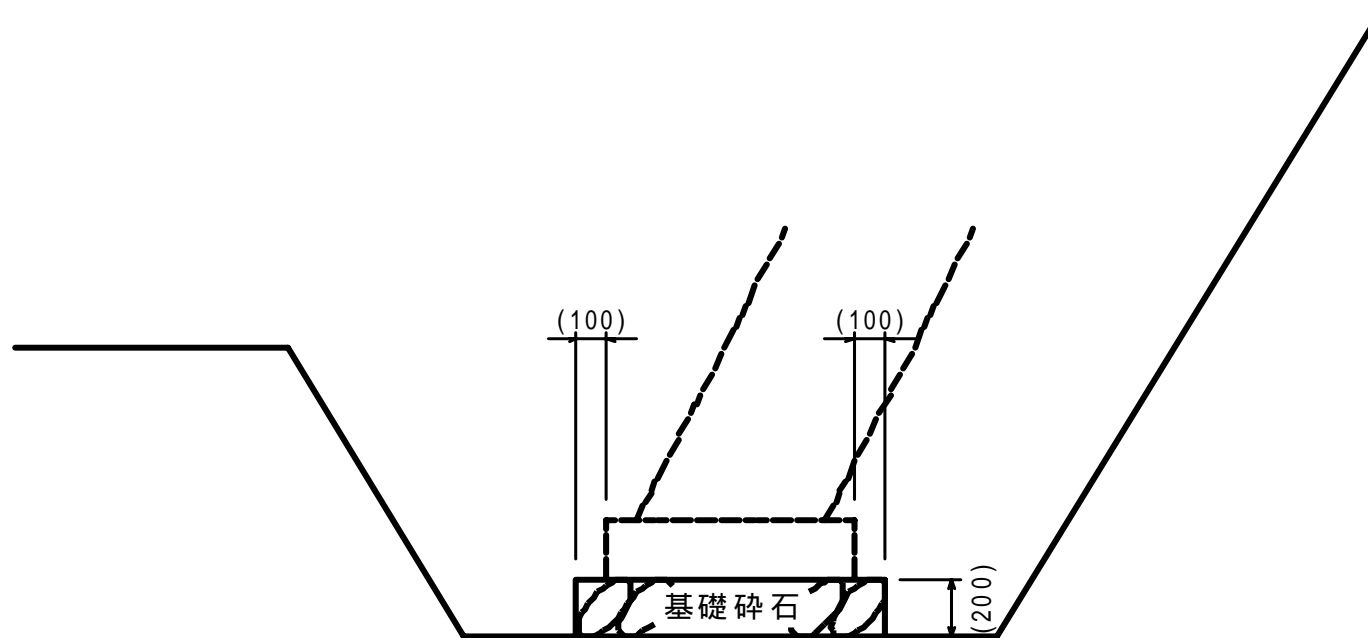


: 労働安全基準法規則にそって作業

3. 基礎

3 - 1. 基礎砕石

・ 基面整正を行った後、発注図面などの設計図書に示す所定厚まで締め固めながら仕上げます。

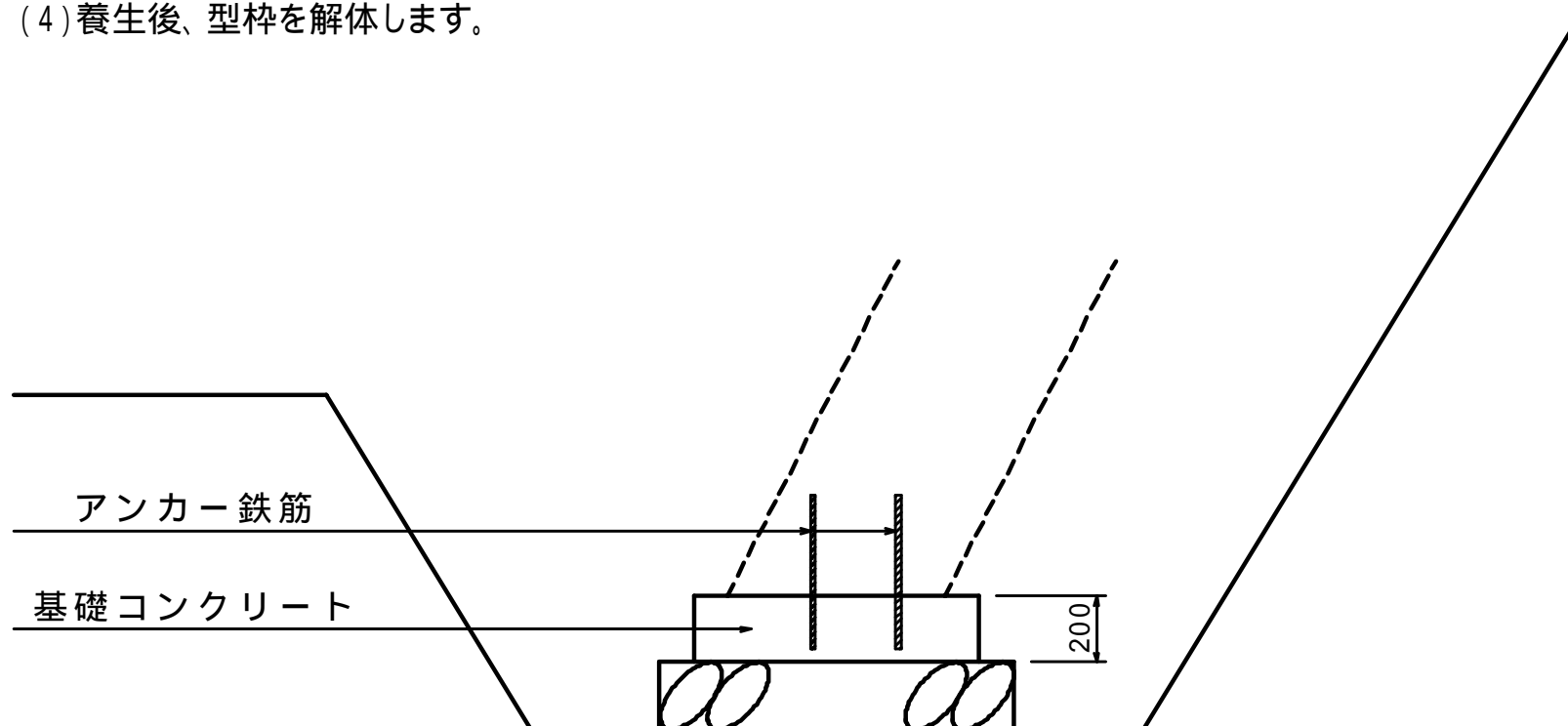


() 寸法は一般的数値を表す。

3. 基礎

3 - 2. 基礎コンクリート

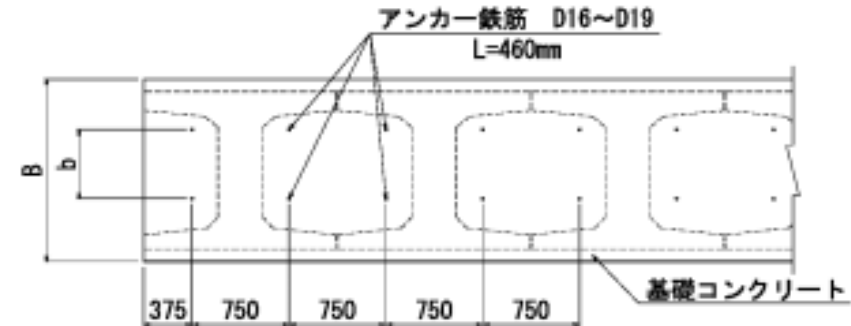
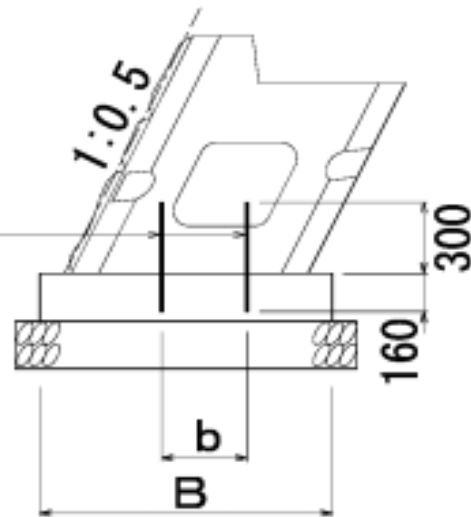
- (1) 型枠を組み立てます。
- (2) 発注図面などの設計図書に示す基礎コンクリート(設計基準強度・スランプ・厚み)を打設します。
- (3) 発注図面などの設計図書に示すアンカー鉄筋を所定の位置に配筋します。
- (4) 養生後、型枠を解体します。



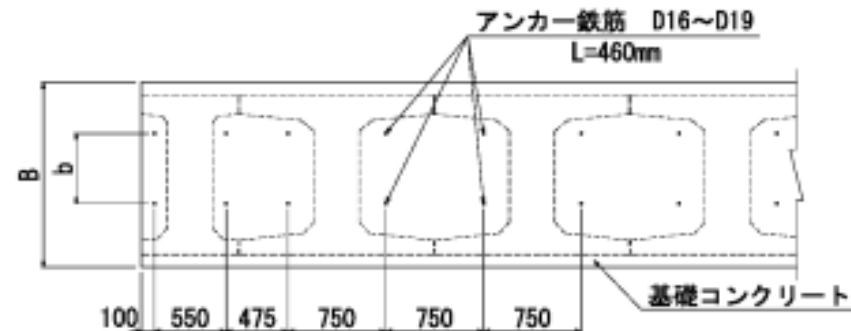
3 - 3 . アンカー鉄筋配筋

アンカー鉄筋は断面方向に2本、縦断方向に750pitchで配筋してください。
 断面方向の鉄筋ピッチ (b寸法) に関しては、発注図面などの設計図書を参照し、縦断方向に関しては
 下図を参照願います。
 製品サイズによって、断面方向の配筋位置および鉄筋径が変わりますので注意してください。

アンカー鉄筋
 D16~D19
 L=460 ctc750



上面図(端部が標準ブロックの場合)

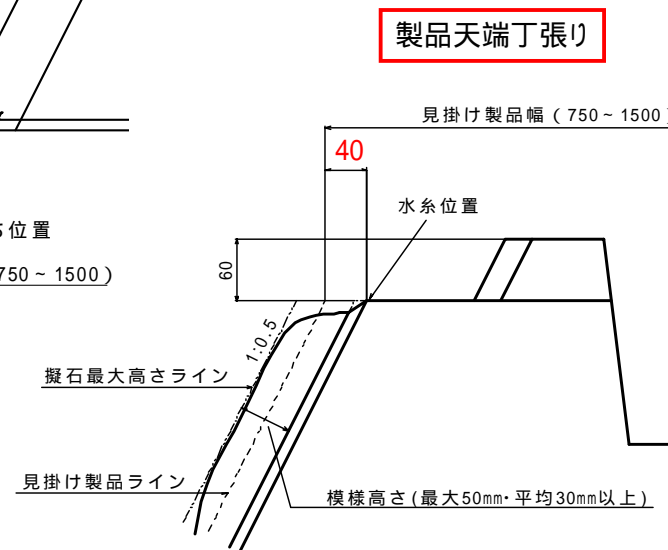
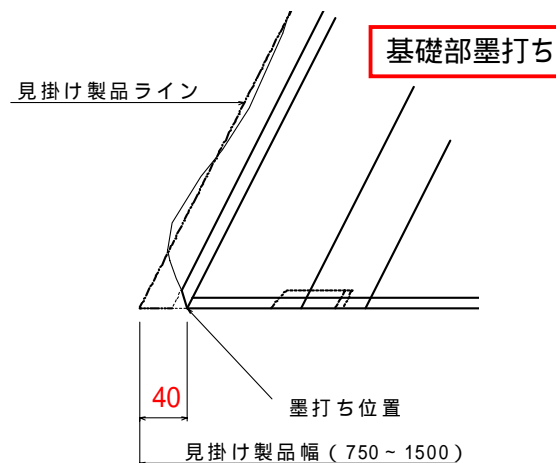
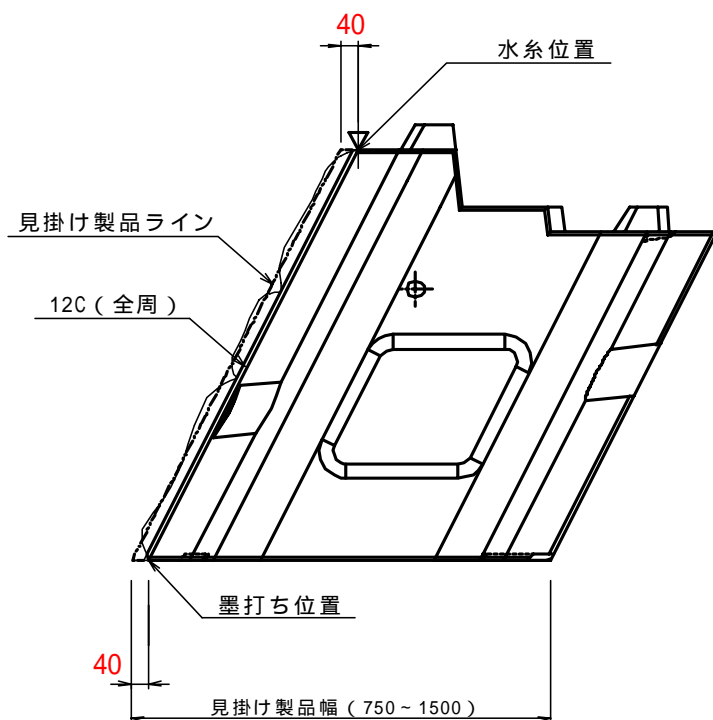


上面図(端部が半丁ブロックの場合)

4. ネオイーグル根石

4 - 1. 丁張・墨打ち

製品には擬石模様の表面化粧があり(下図参照)設計図書の寸法には**見掛けの製品幅までの表面化粧を含んでいます**ので丁張りには注意してください。(ブロック前面に側溝等の構造物を計画する場合は、擬石部との接触によって構造物の出来形に影響しないよう、据え付け位置を若干ずらす等の工夫が必要です。) 遣り方より水系を張り、通り等の確認をとるようにしてください。
墨打ち位置および水系位置は表面化粧部分ではなく面取部分です。

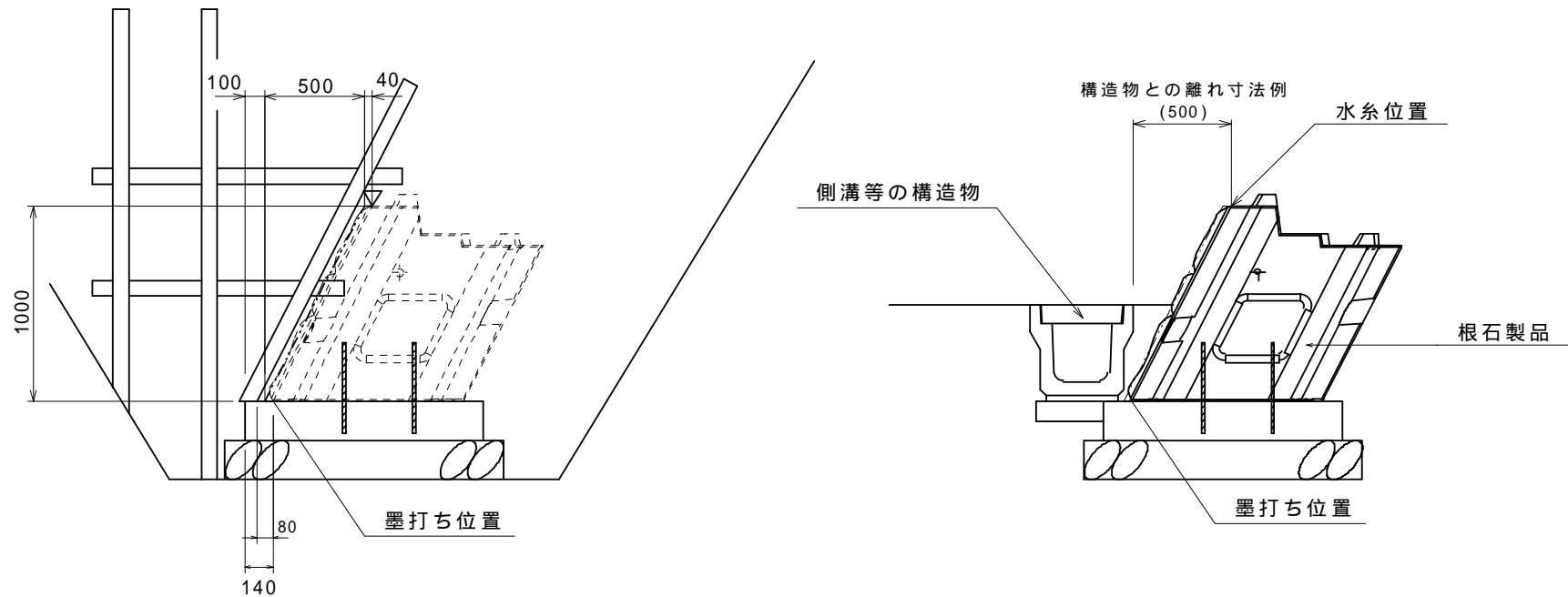


4. ネオイーグル根石

4 - 1. 丁張・墨打ち

ブロック前面勾配に合わせたヌキを設置する際には、擬石の最大高さが5cmですので墨打ち位置から水平に8cm以上離してください。(下図参照)

擁壁前面に側溝等の構造物があり擬石部との接触が疑わしい場合、割付作業段階において横断的な擁壁設置位置を検討しております。図面内に側溝等の構造物との位置関係の分かるよう記載しておりますので、これを参考に丁張り・墨打ち作業をお願いいたします。(下図参照)

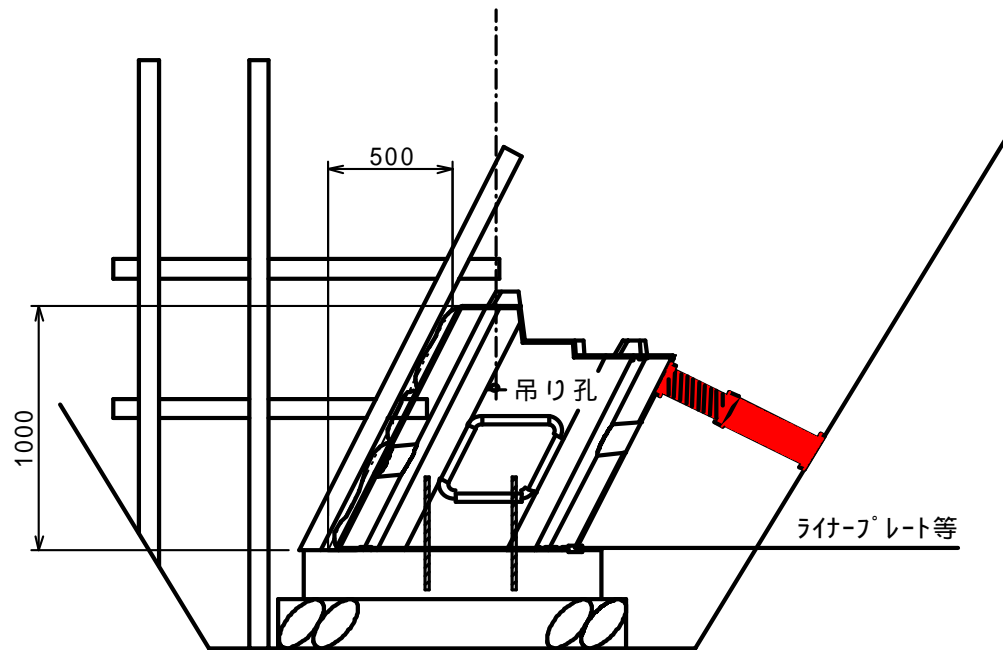


4. ネオイーグル根石

4 - 2 . ネオイーグル根石据付

専用吊具(吊りマスター)は吊りマスターの先端が当たるまで挿入して、ハンドルを回してロックしてください。
(挿入する際には必ず『ロック解除』の状態で挿入してください。)
(ロックする 時計回り、ロックを解除する 反時計回り)

注意 : 安全のため、吊り荷作業の下には入らないでください。
転倒防止用パイプサポートは必ず使用してください。



ロック解除
(反時計回り)



ロック
(時計回り)

製品の高さ調整は、敷モルタルおよび厚さ別のライナープレート等で行い、大中のボールを用いることで調整作業が容易となります。

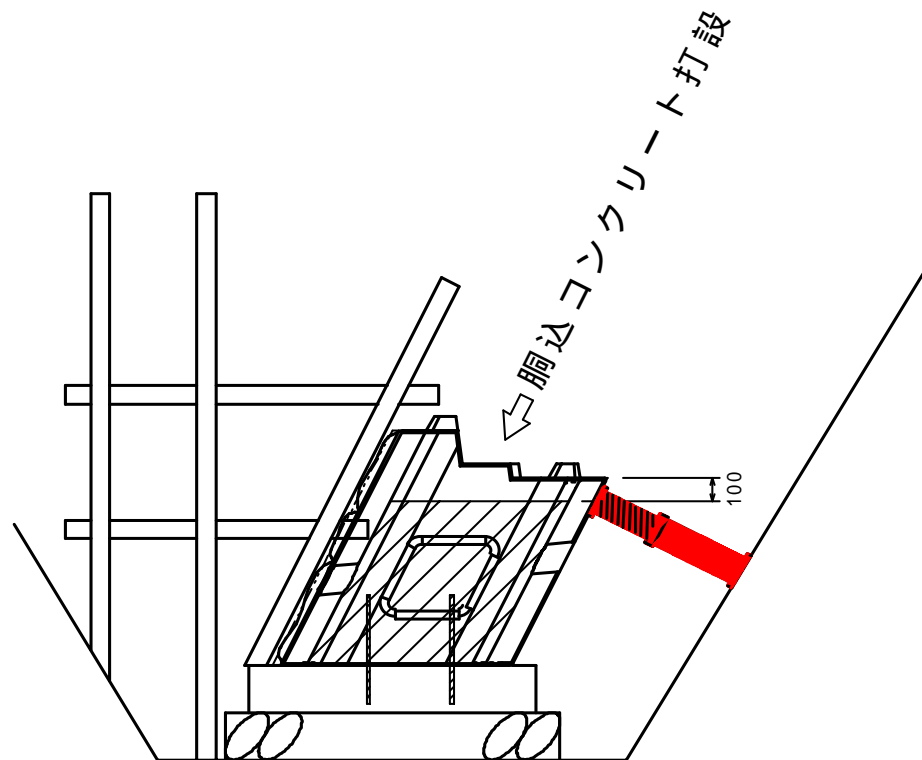
4. ネオイーグル根石

4 - 3 . 胴込コンクリート打設

ホッパー打設にて胴込コンクリートを打設し、棒状振動機等を用いて締固めます。
(条件によってはシュートにて打設します。)

胴込コンクリートの打設は、背面側の製品天端より10cm程度下げた位置までとしてください。

注意 : 生コン打設時の側圧・締固時の振動でネオイーグル根石がずれないように注意してください。



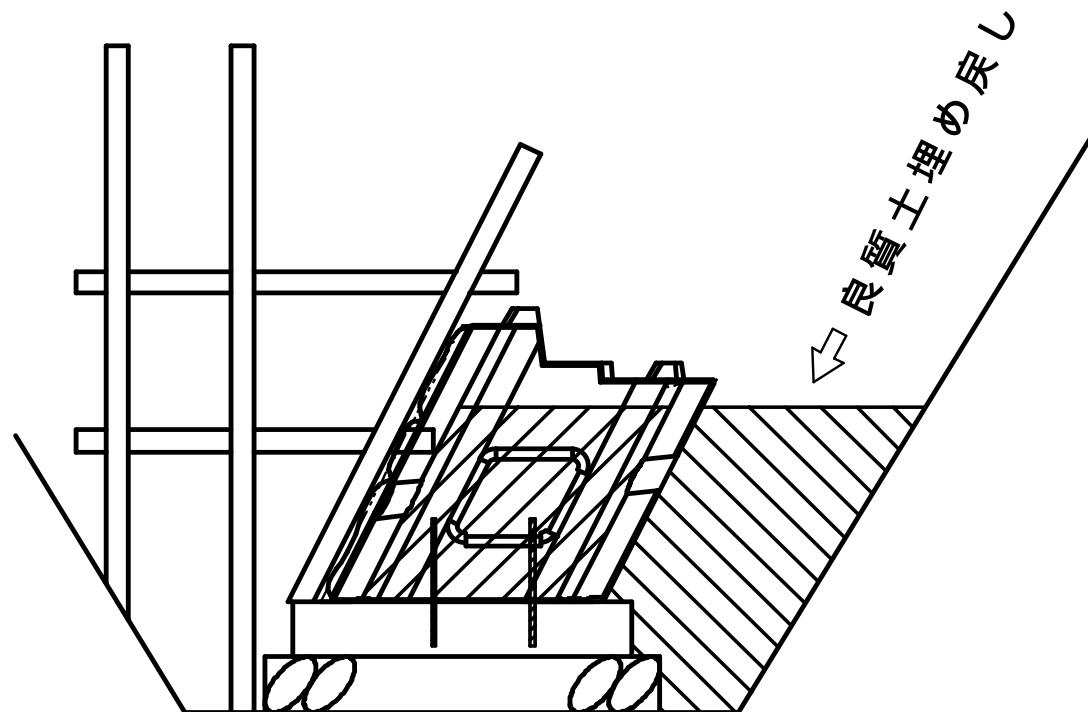
4. ネオイーグル根石

4 - 4 . 良質土埋め戻し

胴込コンクリートの養生完了後、ネオイーグル根石背面を埋め戻します。

注意 : 転圧する際にはネオイーグル根石に当てないように注意してください。

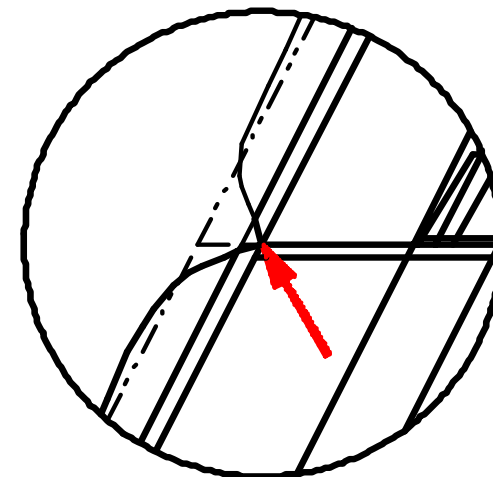
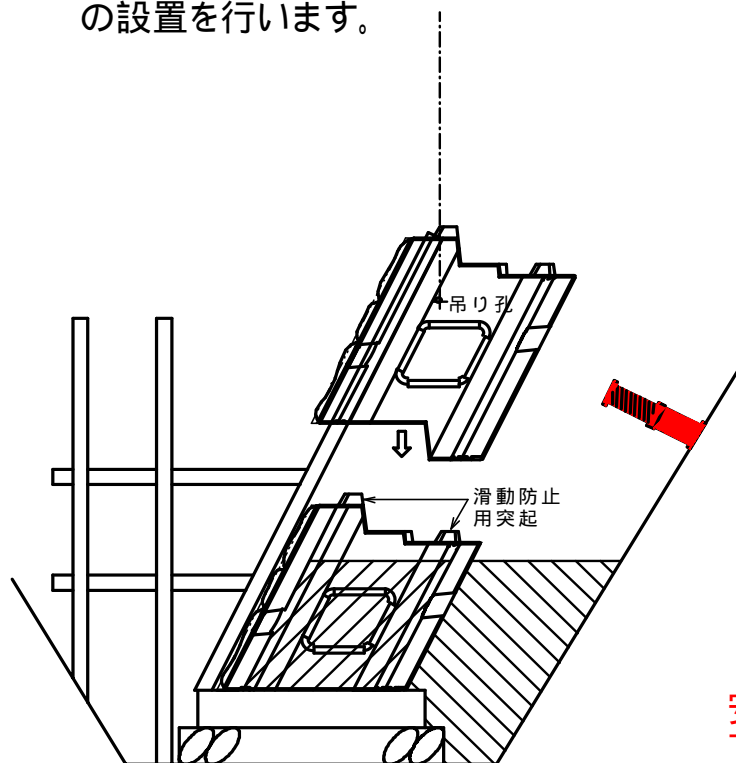
埋め戻しの際、製品胴込部内に埋め戻し材が入らないように注意してください。



必ず(ミニ)パイプサポート等を用いて転倒・滑動防止対策を行ってください。

5 - 1. ネオイーグル設置

下段部の胴辺コンクリートの養生完了後、4 - 2. ネオイーグル根石据付の要領と同様の手順でネオイーグルの設置を行います。



製品相互の前後の位置合わせは、化粧部分ではなく、面取部分で合わせてください。

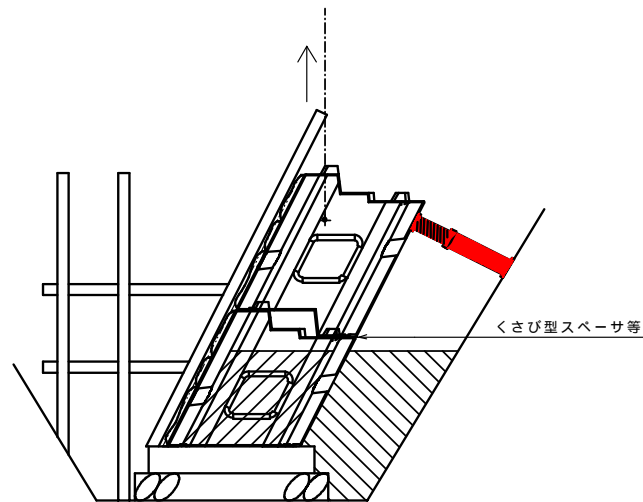
注意
安全のため、吊り荷作業の下には入らないでください。

5. ネオイーグル据付

5 - 2 . 調整時の注意点

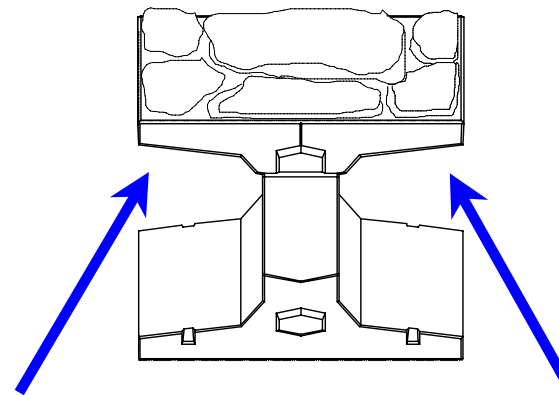
製品据付後、ワイヤーの緊張を解き、ボールなどで勾配・位置の微調整を行います。
作業が終了するまで吊り金具・ワイヤーを外さないでください。
水平器・スラントを用いて、製品の設置状況を確認してください。

注意 (調整時の安全対策)
調整時は特に転倒する可能性があるため、パイプサポートは必ず使用してください。
転倒・滑りの可能性がありますので、調整するブロックの胴込部分に入って
作業しないでください。



パイプサポートは必ず

上 面 図



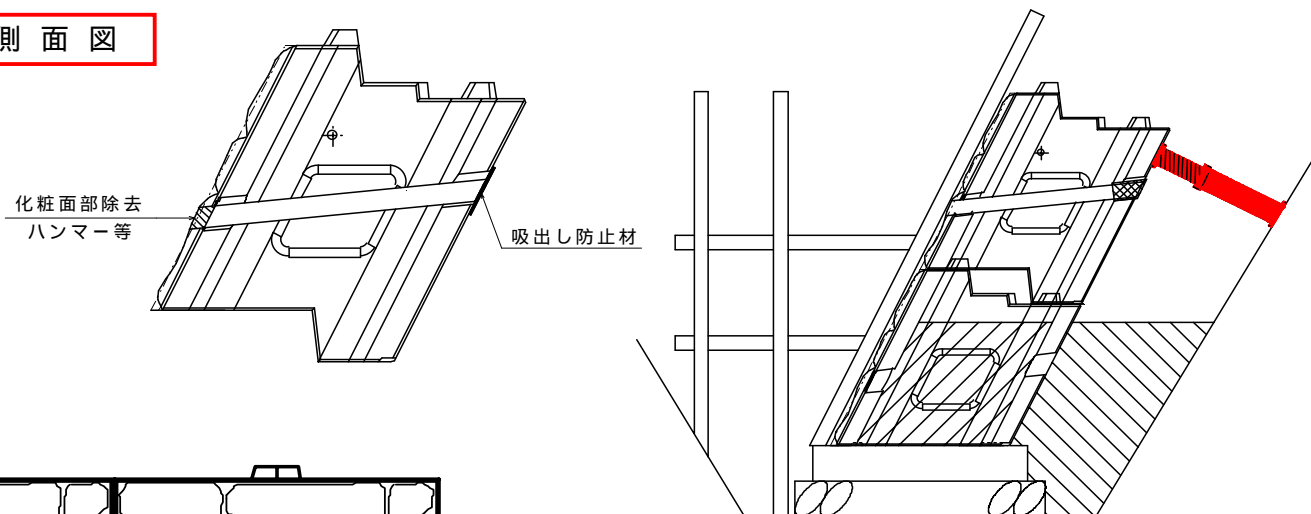
外側から作業してください

5. ネオイーグル据付

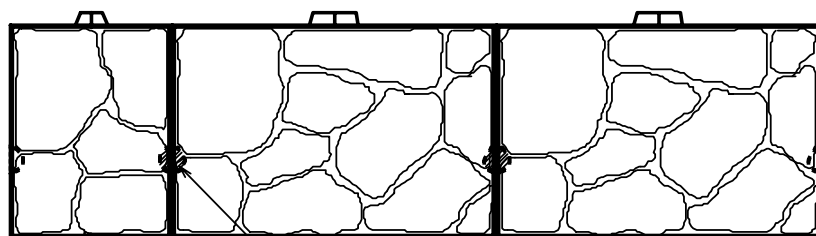
5 - 3 . 水抜きパイプの設置

図に示すネオイーグル表面水抜き取付部分を割り、水抜きパイプを取り付けてください。
次に、吸出防止材を設置します。
水抜きパイプの規格は、発注図面などの設計図書に示されているものを使用してください。

側面図



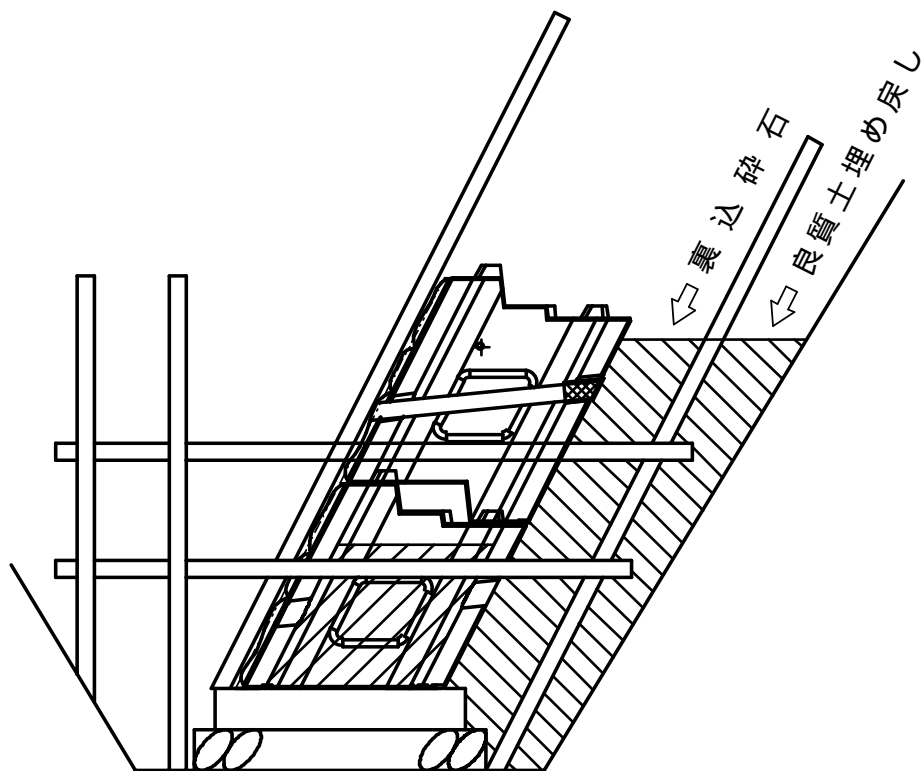
正面図



ハッチ部の化粧面部を除去し
水抜きパイプを設置

5 - 4 . 埋め戻し・透水層の施工

透水材(裏込砕石・透水マット等)は、設計図書に示す規格・寸法のものを使用し、丁寧に施工してください。
透水層の施工にあたり、ブロック積擁壁の勾配と透水層の勾配が異なる場合は2重丁張をし、
所定の層厚を確保してください。

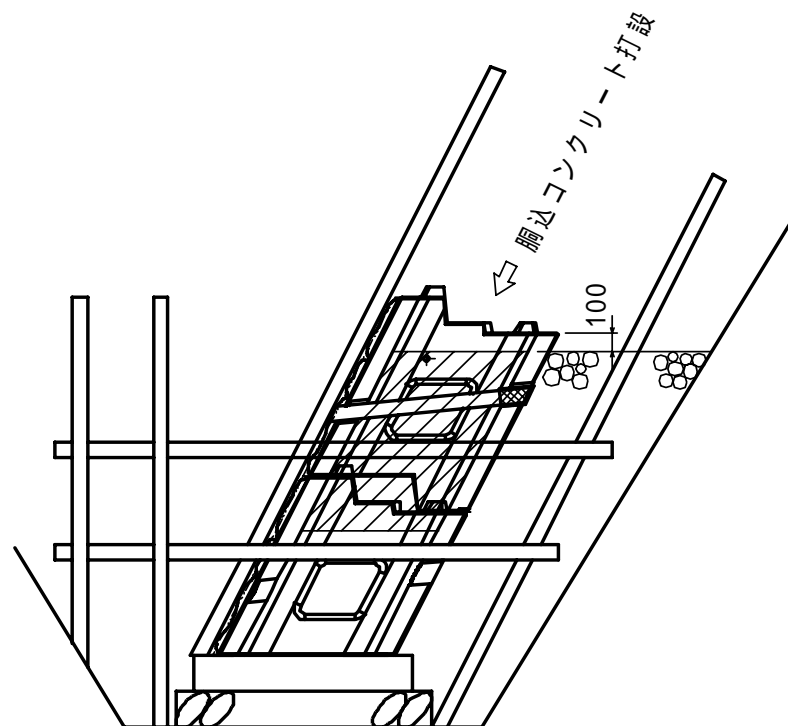


5 - 5 . 胴込コンクリート打設

埋め戻し完了後、ホッパー打設またはシュート打設にて胴込コンクリートを打設し、棒状振動機等を用いて十分に締固め作業を行います。

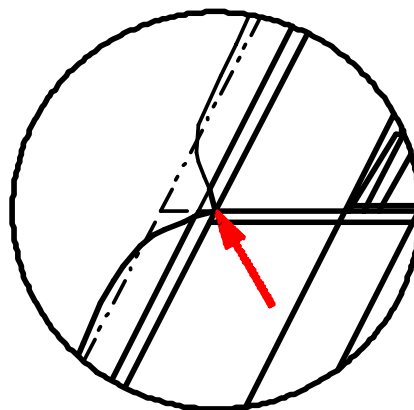
胴込コンクリートの打設は、背面側の製品天端より10cm程度下げた位置までとしてください。

注意 : 生コン打設時の側圧・締固めの振動でブロック・水抜きパイプがずれないように注意してください。

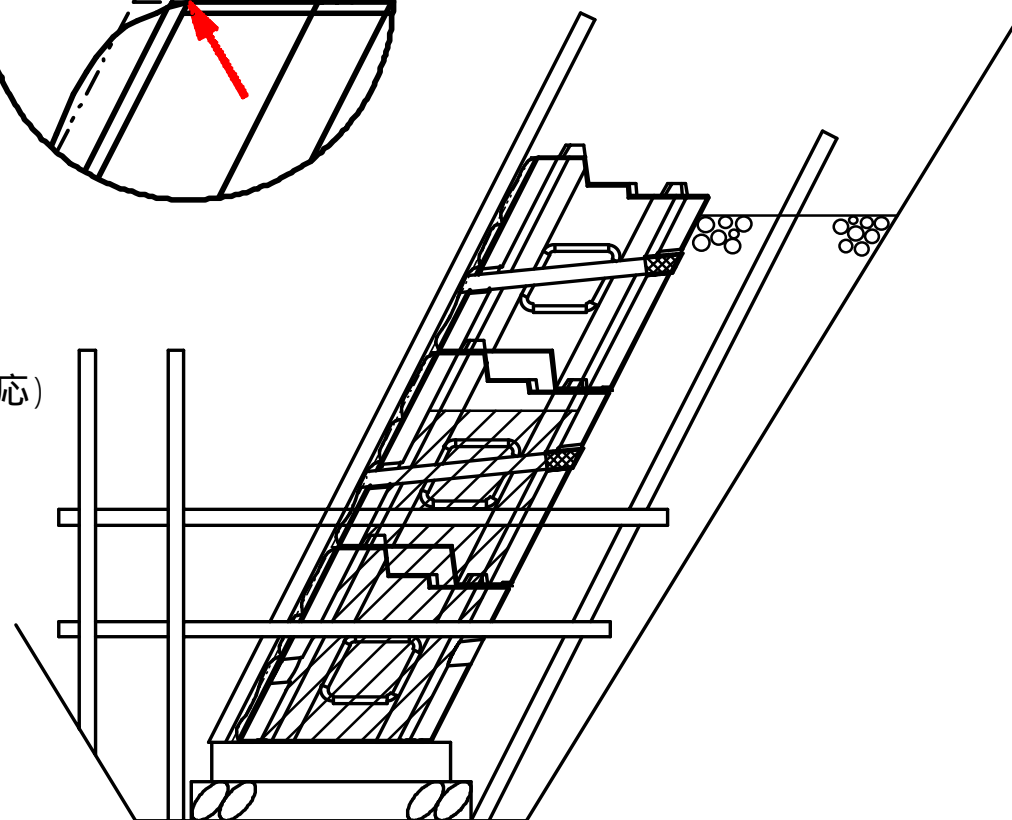


6 - 1 . 以降繰り返し

- 製品据付
- 勾配・位置 調整
- 水抜きパイプ設置
- 裏込碎石** 埋戻し・転圧
- 胴込コンクリート打設
- 天端調整コンクリート打設
(必要に応じて化粧型枠で対応)



製品相互の前後の位置合わせは、化粧部分ではなく、面取部分で合わせてください。



7. 参考資料

7 - 1. 各製品の1個あたり胴込コンクリート量

本 体		単 位 : m ³ /個			
	A	B	C	D	摘 要
750	0.468	0.238	0.203	0.101	
1000	0.820	0.414	0.341	0.174	
1250	1.148	0.580	0.481	0.247	
1500	1.476	0.747	0.622	0.319	

根 石		単 位 : m ³ /個		
	NA	NC	摘 要	
750	0.403	0.177		
1000	0.680	0.278		
1250	0.932	0.380		
1500	1.185	0.483		